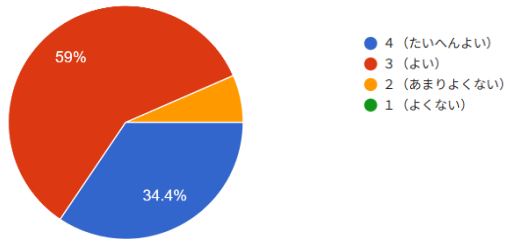
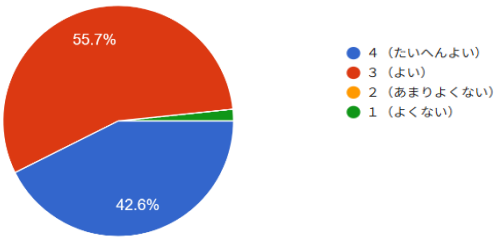
# 学校評価（保護者）結果について【調査日】９月 24 日～10 月 23 日【調査対象】全保護者

※「２」「１」の割合が高かった項目は赤囲みで示してあります。

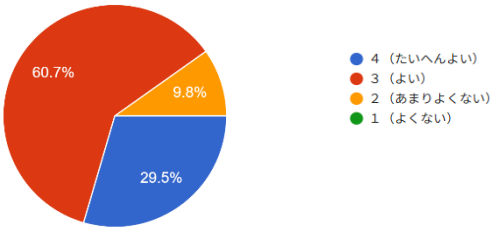
○ 学校経営や学級経営の現状を説明する取組
【取組】 学校便り，週報及び学級通信，ホームページ，連絡帳など
94 件の回答



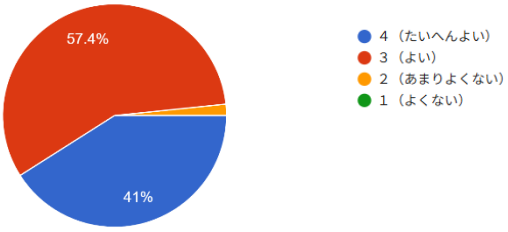

○ むし歯治療１００％やむし歯予防をめざす取組
【取組】学校便り，保健だより児童による取組(保健委員会)，歯と口の健康週間など
94 件の回答



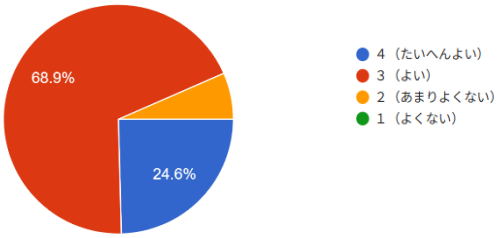

○ 子供の基礎・基本の学習の定着をめざす取組
【取組】授業(話す・書く時間の確保，見届けを重点においた指導)，単元テスト等での確認，補充授業（朝の活動），タブレットの活用，ハッスル5DAYS など
94 件の回答



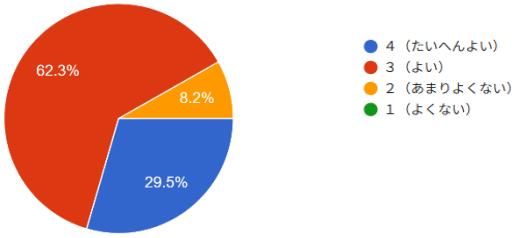

○ 子供が進んで読書に親しむ取組
【取組】図書だより，読み聞かせ(そらいろのたね)，図書委員会による読み聞かせ，目標冊数達成者表彰など
94 件の回答



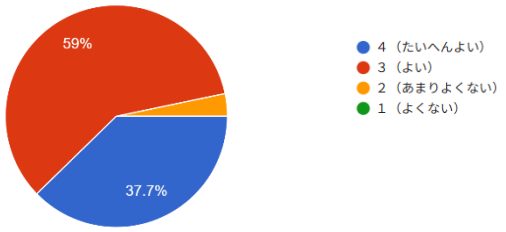

○ いじめのない学校・学級づくりへの取組
【取組】学校楽しいーとの実施，教育相談，いじめ問題を考える週間 （チェックリスト活用，道徳での指導）など
94 件の回答



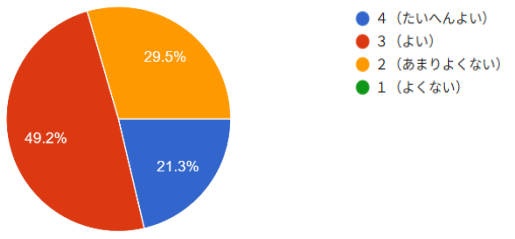

○ 基本的な生活習慣を定着させる取組
【取組】「野間のよい子」の徹底，「元気なあいさつと返事，そろえる」の徹底など
94 件の回答



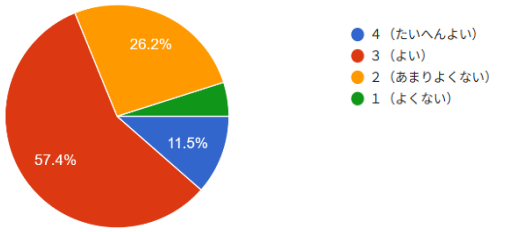

○ 安全に配慮した教育環境及び安全意識を高める取組
【取組】安心メール，学校施設の安全点検(月１回)，登校指導(交差点での立哨指導)，道徳・学活での指導など
94 件の回答



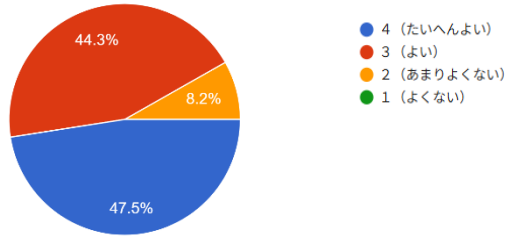

我が子は，家庭学習の時間を決め，よく取り組んでいると思う。
94 件の回答




我が子は，23日（親子読書の日）を中心に，家庭での読書に取り組み，本をよく読んだり，読み聞かせを聞いたりしていると思う。
94 件の回答

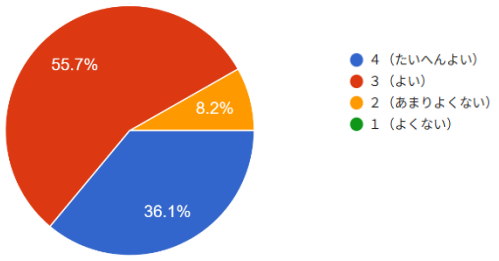



我が子は，楽しく学校に通っていると感じる。
94 件の回答



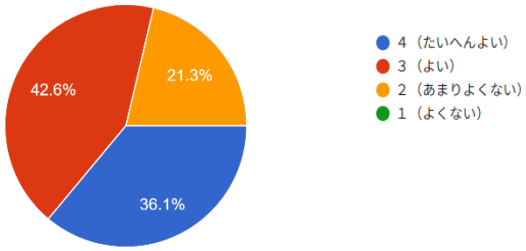
我が子は，地域の人や周りの人にあいさつを自分からしっかりとしている様に思う。

94 件の回答



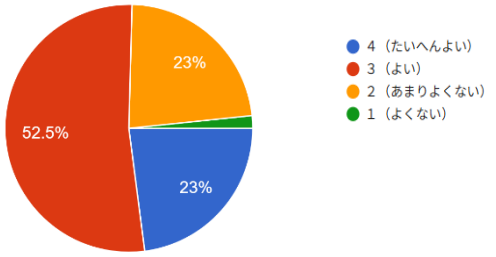

我が子は，すすんで体力作りや運動に取り組んでいると思う。

94 件の回答



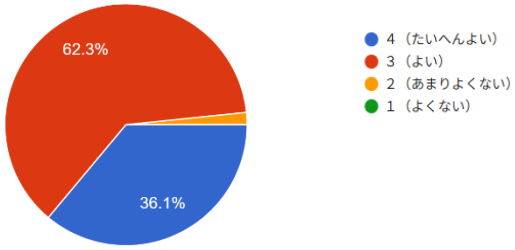

我が子は，家の手伝いをよくしてくれている。

94 件の回答




我が子は，安全な登下校・道路の歩行・自転車の乗り方・遊びをしている。

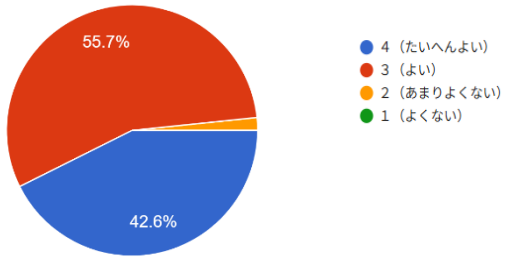
94 件の回答




# 学校評価（保護者）結果について～家庭の取り組み～

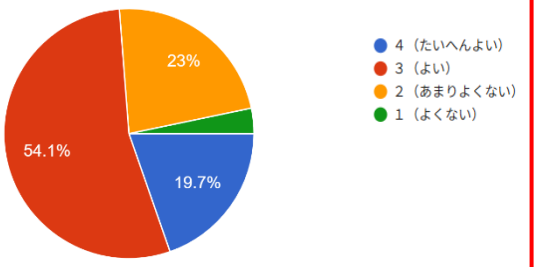
家庭は，学校行事や授業参観，ＰＴＡ行事に努めて参加できている。

94 件の回答



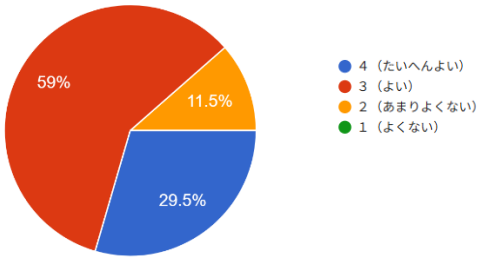

家庭では，子供とのメディアルールを決め，取り組んでいる。

94 件の回答



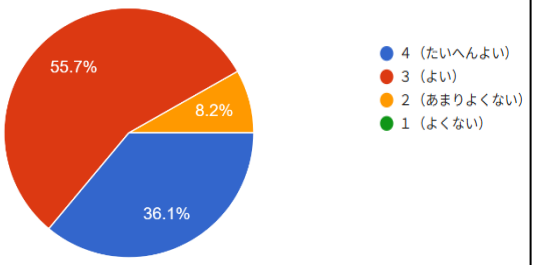

家庭では，家庭学習に取り組めるように声かけや見届けをするようにしている。

94 件の回答



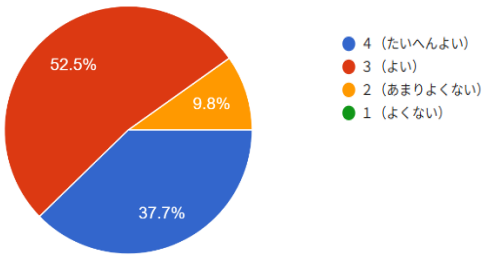

家庭では，学校での出来事の話をじっくり聞くようにしている。

94 件の回答



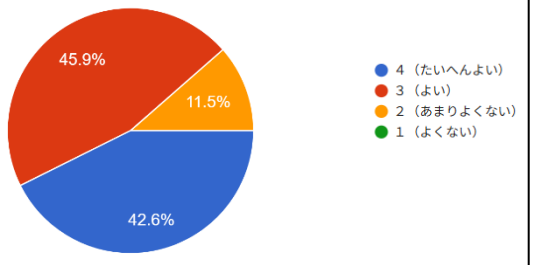

家庭では，あいさつが自然とできるように家庭内で心がけている。

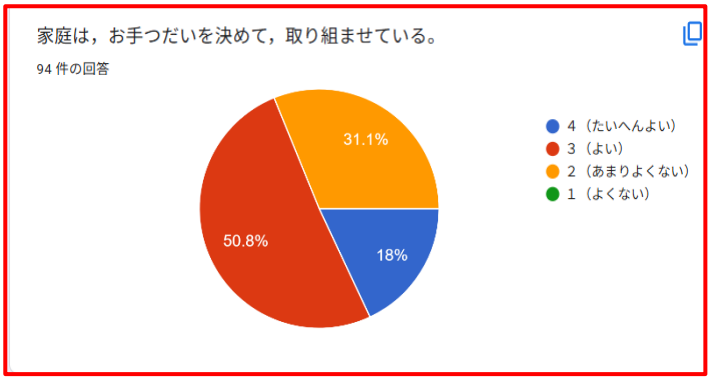
94 件の回答

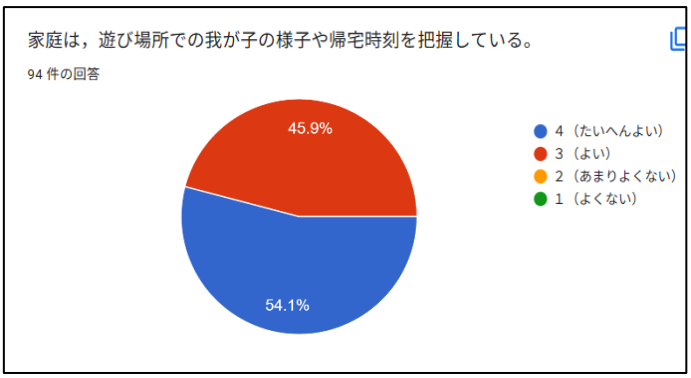



家庭は，早寝・早起きの習慣や朝ご飯をきちんととらせることに努めている。

94 件の回答






## ○　学校の取組の中で，良かった取組や良い点

○　親子読書の日は、親子で一緒に本を読むいい機会になっています。
○　学校だより、図書便り、保健便りのペーパーレス化。
○　図書の本 目標達成のために進んで読書に取り組めた。
○　ハッスル週間。
○　担任の先生が、子供達の学習の定着をしっかり図ってくださっているのが実感できて、大変有り難いです。次学年の壁でつまずかないよう、是非 2,3 学期も宜しくお願いいたします。
○　担任の先生が子供のことで何かあったら細かいことでもすぐに電話してくれます。いつも感謝しかありません。
○　朝のあいさつ運動 校門まで子供を送っていくと、階段の上から上級生の皆さんが「おはようございます！」と爽やかなあいさつをしてくれて清々しい気持ちになりました。
○　担任の先生だけではなく、色々な先生方が、○○さんと名前を読んでくださり、気持ちのこもった声かけや優しく明るいまなざしおかげで、転校したての娘 2 人は安心して学校生活を過ごせました。

## ○　評価「２」「１」にチェックし，「こうすれば良い」という意見　※一部抜粋

○　学級通信で学級の様子を伝えてくださることは大変ありがたいのですが、書いてある学年が間違えていることが何度かありました。これまで作成されたものをコピーして使われて、訂正するのを忘れたのだろうと思うのですが、悲しい気持ちになりました。先生方の負担もあると思うので、コピーすることが悪いとは思いませんが、しっかり確認はしていただきたいです。
○　家ではなかなか手伝いをさせる余裕がなく、あまりさせれていないのが実情。学校で係活動など役割を持って働くということができていればありがたい。
○　虫歯治療中にも関わらず夏休み前 再度お知らせがきて催促されているように感じた。
○　校内でシューズを履かず、靴下や裸足で移動している子供が複数いるようである。シューズがきつい、感覚過敏など、様々な理由があるかと思うが、安全面や衛生面も考えて、履くことを徹底して欲しい。子供たちが進んで履いてくれるようなシューズに替わる履き物を採用するか。学年によって子供たちの忘れ物が多く、その度に先生が注意をし、授業が中断されると聞く。折角よい授業だとしても、進度が遅れたり、定着しづらくなったりするので、何とか対策は出来ないか。まずは家庭の声かけからだと思います。
○　名前の呼び捨ては気になります。地域性と言えば地域性となるかもしれませんが。呼び捨てのあとに続く会話はあまり快い会話になりません。学校全体で徹底できればいいかなと思います。
○　子供のノートをみると、書く活動があってもいいと思います。1 時間、1 単位、家庭学習の中で軽重を付けていいとは思いますが、書く活動の充実を願いたいです。

## 【考察】

**○　良好な評価を得ている項目（肯定評価 90%以上）**

・むし歯治療 100%やむし歯予防をめざす取組　・保健だよりや児童（保健委員会）による取組
・歯と口の健康週間　・学校経営や学級経営の現状を説明する取組
・いじめのない学校・学級づくりへの取組　・子供が進んで読書に親しむ取組
・安全に配慮した教育環境及び安全意識を高める取組　・基礎・基本の学習の定着をめざす取組

**○　課題が見られる項目（否定評価が高い項目）**

・お手伝いの習慣化　・児童の家庭学習（時間と自主性）　・メディア利用ルールの順守
・親子読書の取組　・親子での体力づくりの取組

今回のアンケート結果から、学校の教育活動・安全管理・情報発信に対して保護者から非常に高い評価と信頼が寄せられていることが確認できた。 一方で、後期に向けては、家庭と連携した「学習習慣（家庭学習）」「メディアルール」「お手伝い」の定着支援が重点課題である。保護者との良好なコミュニケーションを維持しつつ、家庭と学校が協力して児童の健やかな成長を支える環境づくりを継続していく。

## ○　質問・要望等（※回答を求めるもの）記名されていたもののみ回答

○　町内陸上記録会の開催時期、競技内容について。校内行事ではないので、こちらで言うべきか迷ったのですが、町内陸上記録会についてお聞きしたいことが 2 点あります。まず、開催時期についてです。運動会とは別の時期に開催できないでしょうか？運動会練習と記録会練習が重なり、疲れが見えます。怪我も心配ですし、怪我をして運動会に出れないということも心配です。 競技内容は妥当でしょうか？ハードル、高跳び、幅跳びなど、普段体育でしないような競技を一生懸命頑張っている姿は感動しますが、やはり怪我が心配です。また運動会前ともあり 練習時間があまり取れていないようです。これについては、先生方を責めるつもりはありません。運動会前の忙しい時期に練習の時間をとってくださったことには感謝をしています。ですが、やはり時間的にも無理があるのではないか？と感じました。 保護者としては、何より怪我が心配です。それを踏まえた上で、開催時期、競技内容の検討をお願いできればと思います。

【回答】小学校陸上記録会は、中種子町小学校体育連盟が主催である為、「開催時期」「競技内容」については、主催者に要望する。また、競技内容については、小学校１年生からの積み重ねにより、技能を獲得していく競技である為、普段の体育の授業の質を高め、無理なく競技や練習に挑めるようにしていく。

○　今年度からタブレットが持ち帰りになり、水泳学習がある日などは、荷物が多くて、大変そうでした。我が子にも伝えてはいますが、学校でも荷物が多い日は、置いてもいい教科書を増やすなど、配慮や指導をしていただきたいです。また、タブレットで課題が出たことは夏休み以外ほぼなかったので、我が子は家庭ではタブレットを開くことがほとんどありません。充電のためだけに持ち帰るのなら意味がないと思うので、家庭でも活用できるような課題を出していただくか、必要な時にだけ持ち帰るなどを検討していただきたいです。

【回答】タブレット端末をもちかえることで、学校で取り組んでいた授業の続き（調べ学習の続き、レポートや作品の作成、プレゼン資料の推敲など）を、そのまま自宅でスムーズに再開できたり、自分の理解度に合わせて AI ドリルや学習アプリを活用し、苦手な単元をじっくり復習したり、得意な分野を先取りして深掘りしたりできたりするといったよさがある。今後、家庭学習の内容を工夫し、タブレット端末を用いて取り組めるようなものにしていく。また、教科書等については、タブレット端末内のデジタル教科書を活用することができることを踏まえ、今後も学校に置いて帰らせるように、子供たちに声掛けをしていく。